

製本のススメ

Vol. 80

日中の暑さも峠を越え、朝晩はだいぶ秋めいてきました。いつの間にか虫の声もセミからスズムシになり、温泉が恋しい季節となりました。

今回は**綴じ方選びのポイント**の話し（番外）

先月予告の番外編です。帳簿と言っても、お金に関する物だけではありません。**記載された内容に悪意のある修正が意図的に行われてはいけない記録物**例えば出席簿や議事録・診療録なども帳簿の分類です。上製の分類ですが書籍用とは区別しておかないと製品上トラブルの素になりますので注意してください。

帳簿

印刷段階で大きく違うのは、ページ数に端数がありません。つまり2ページ(ペラ)**貼込みは原則しない**のです。また用紙も耐久性と保存性が伴わないといけません。またページ数の指定もできない場合がほとんどです(例えば、210頁分とはいかない場合がある)

製本方法は大きく変わります。糸綴りでは、**使用する糸が帳簿用で、多くは手綴り**となりますので書籍用の綴りはできず、帳簿専門(或いは帳簿綴りの出来る加工所)へ発注をする必要があります。

書籍の丸背上製では、背表紙は柔らかいのですが**帳簿製本では、背の丸み部分は半月型に加工されたボール紙で作られています**。毎日の使用に十分耐えて行く為の加工で、これらは号数で厚みが予め区別されており、そのため本文枚数の指定が出来ないと言うわけです。見返しにも**継見返し・巻き見返し等** 独特な加工が施される場合が多く、書籍で使われる見返しのイメージとは少々かわります。

また凝った物では、天地・小口に装飾を兼ねて色付け(マーブル染)など施しますと改ざん発見・防止効果、装飾効果・埃よけ効果の整った世界に1冊の帳簿が出決上ります。

書籍の上製加工と帳簿加工では、一部共通の加工は有りますが、活版とオフセットの違い同様 別な加工なのです。



Teabreak

秋といえば焼き芋です！でもサツマイモを生で食べても甘く有りません。この甘みは、デンプンが熱によってゆっくりと分解される途中で出来る糖分です。長時間高熱を保つほうが より甘さが増すので、石焼きはサツマイモの性質を見事につかんだ調理方といえますね。

by (株) 井関製本